

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年7月10日

【2017年7月1日～2017年7月7日までの推移】

【1】先週の回顧

先週レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。2年国債金利は低下しました。

政治関連では、テメル大統領の側近だったローレス氏が最高裁判所の決定により保釈されたり、議員資格を停止されていたPSDB総裁のアエシオ上院議員が復帰するなどテメル大統領のサポートになるようなニュースが多く報道されました。

テメル大統領陣営は、収賄容疑の起訴に対して抗弁書を下院委員会に提出しました。また、最高裁判所での審理開始を判断する下院議員に対し、水面下での説得を行っていると考えられています。

発表されたインフレ率は、市場予想を下回ったほか、前月比では伸び率がマイナスとなったことで金利は低下しました。

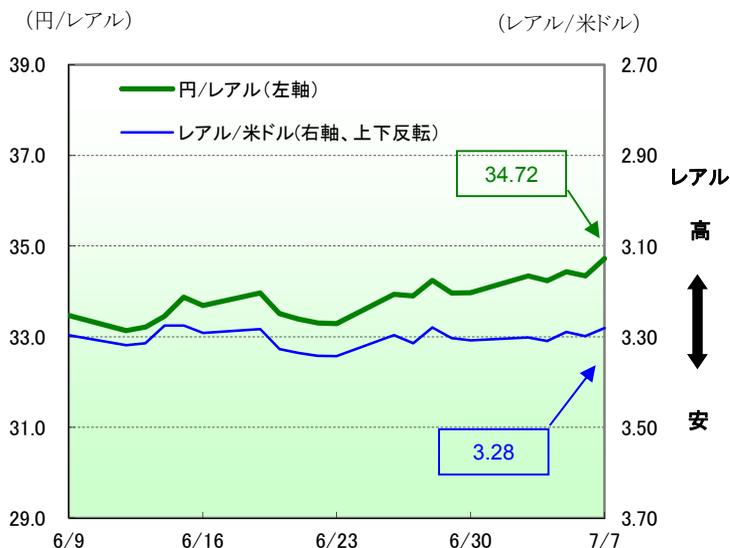
【2】今週の見通し

今週は、小売売上高などの経済指標が発表されます。経済指標に比べて、政局や年金改革法案の動向が市場を動かす材料になると思われます。

テメル大統領の起訴を受けて、連立政権内部の政党が政権を離脱する動きが強まる恐れや、社会保障改革法案の内容が後退する懸念などもあり、政局には変化が生じやすく、今後の進展を見守る必要があると考えています。

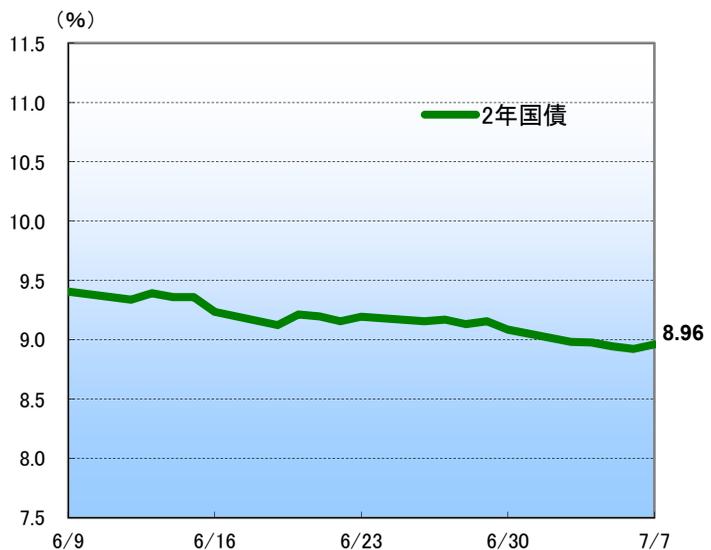
市場で注目されている年金改革を含む社会保障改革法案ですが、政局の混乱により、採決は遅れる見通しです。しかし、政府が財政健全化をはじめとした構造改革を着々と進める場合には、ブラジル経済に対する信認改善が、景気回復につながり、レアルを下支えすることが期待されます。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年6月9日～2017年7月7日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年6月9日～2017年7月7日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>